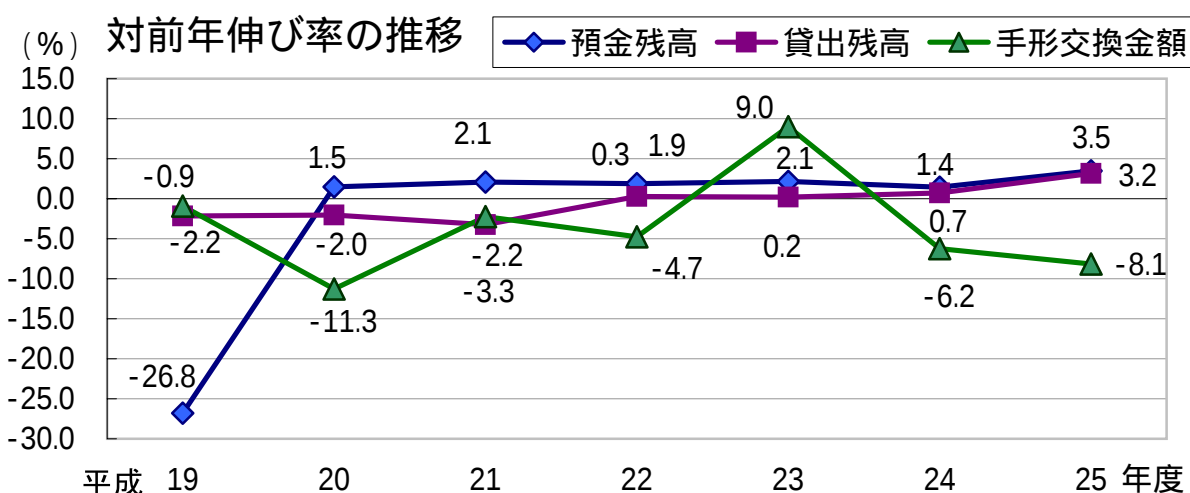
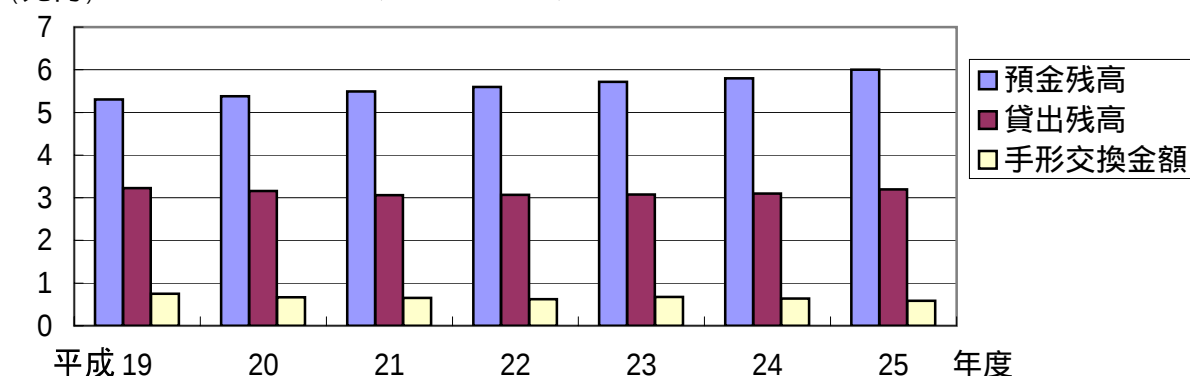


県内金融経済の概況

(兆円) 預金残高、貸出残高、手形交換金額の推移



資料 1 預金残高、貸出金残高 日本銀行長崎支店ホームページ「県内業態別預貸金残高」
2 手形交換金額 長崎・佐世保両銀行協会調

(平成25年度長崎県経済の概況)

平成25年度の長崎県経済は、年度当初の弱含みの動きから夏場にかけて持ち直しに転じた後、後半は緩やかな回復基調を辿った。

最終需要面をみると、公共投資は、高速道路関連工事など大型案件の発注等があり、前年を大幅に上回って推移した。住宅投資は、前半は増税を意識した駆け込み需要から増加基調にあったが、年度末にかけて増勢が一服した。設備投資は、非製造業を中心に持ち直しの動きが広がり、短観調査によれば、前年度を2割方上回って着地した。個人消費は、持ち直しの動きから底堅さを維持し、年度末にかけて消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられたほか、観光関連も、大型観光施設の集客施策の奏功等を背景に入り込み客数が堅調に推移した。

生産面では、造船は高付加価値船舶の建造が進捗する中で、生産も下げ止まりから持ち直しの動きに転じた。機械・重電機器は、原動機を中心に新興国向けの生産が進捗したほか、国内向けも新規受注が堅調に推移し、全体として高めの操業が続いた。

雇用者所得は前年を下回って厳しい状況が続いたが、後半にかけて持ち直しの動きがみられたほか、労働需給は緩やかな改善傾向を辿った。消費者物価は、概ねゼロ近傍で推移した後、年度末にかけて1%前後で推移した。

(日本銀行長崎支店)